

# 街路樹再生プログラム(第1期) 取組成果

計画期間: 令和元年度から令和5年度まで



令和6年12月



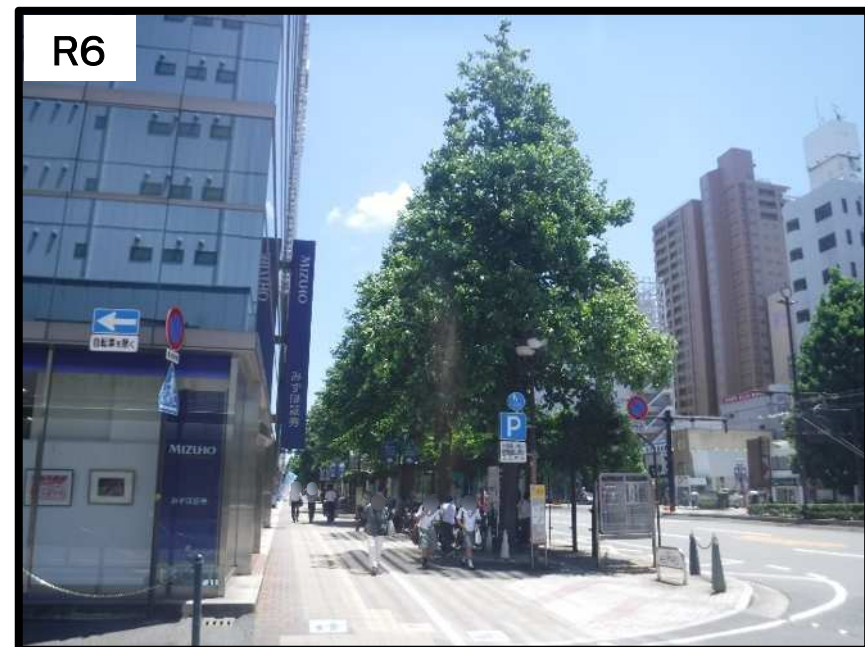
# 街路樹再生プログラム(第1期)【R元年度～R5年度】の取組成果

## [目的と成果]

岡山市の中心市街地の街路樹は、これまで落葉等による沿道への影響を考慮しながら剪定を行ってきたが、年々剪定時期が早くなり、また枝の切り過ぎがエスカレートしたため、結果として樹形の悪化に繋がっていた。このため岡山市管理の景観重要道路7路線において、まちなかの回遊性や魅力の向上を図り、歩いて楽しいまちづくりを進めるため、樹木の植替えや剪定の方法・時期を見直した結果、街路樹が持つ本来の美しい樹形を回復し、「緑のボリュームアップ」を図ることができた。

## [主な取組成果]

### 桃太郎大通り(同地点)



行き過ぎた剪定  
早過ぎる剪定時期

剪定方法や  
時期の見直し

樹形の回復  
緑量の増加

# 街路樹再生プログラム(第1期) 【R元年度～R5年度】の取組成果

[主な取組成果]

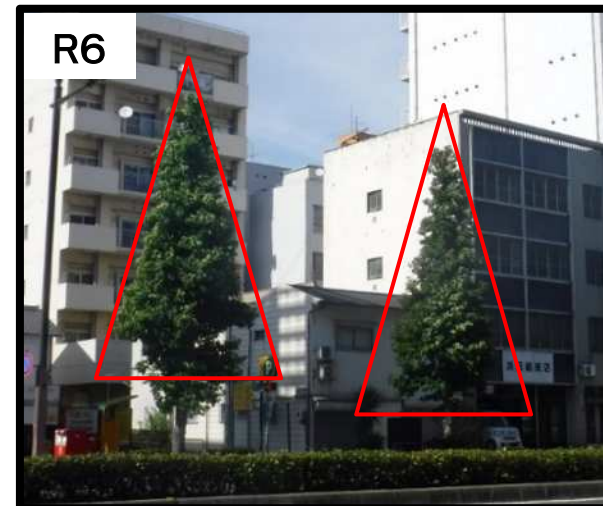
## ハレまち通り(同地点)

1車線化工事にあわせて植替えを実施し、  
歩きたくなる道路空間を創出



## 県道岡山児島線・国道250号(同地点)

剪定方法を工夫し、樹形を整えた



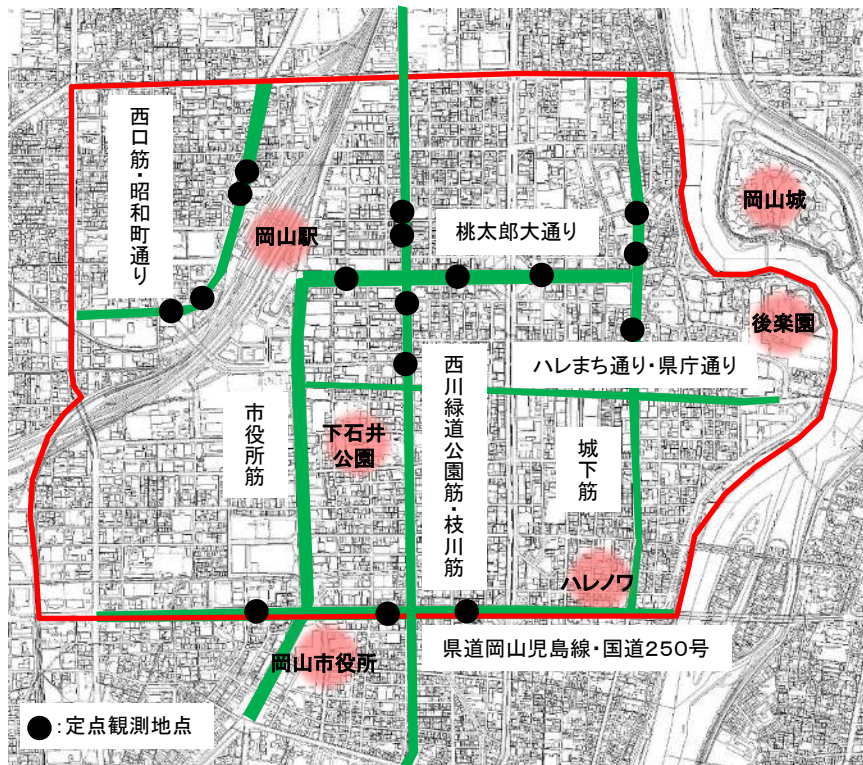


# 街路樹再生プログラム(第1期)【R元年度～R5年度】の取組成果

## [主な取組成果]

全7路線のうち、植替えを実施した市役所筋とハレまち通りを除く5路線の全てで「緑視率※」が平均で4%以上上昇した。また、緑が多いと感じる人の割合が高くなる緑視率が25%以上の路線は、取組前から1路線増え、2路線となった。

## [観測地点]



※緑視率とは・・・人の視界に占める緑の割合を表し、街路樹や生け垣、壁面緑化など、人々がまちなかで目にする緑量を示す指標の一つで、心理的効果を評価する際に用いられる。緑視率が25%を超えると、心理的な潤い感や安らぎ感を覚えるとされている。緑視率算出には、国土技術政策総合研究所が開発したAI緑視率調査プログラムを使用した。

## [緑視率(%)]

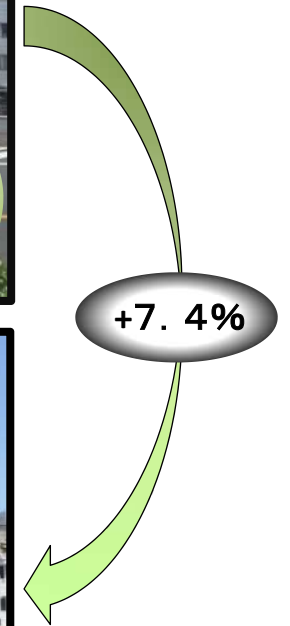
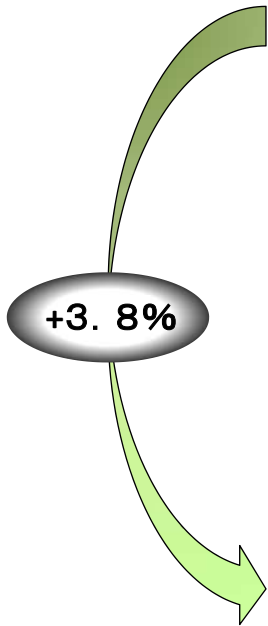
緑視率(%)	基準値 R元	達成値 R6
<b>5路線の平均値</b> (全7路線のうち、植替えを実施した市役所筋、ハレまち通りを除いた5路線)	<b>19.3</b>	<b>23.8</b>
<b>全7路線の平均値</b>	—	<b>22.9</b>

路線名	観測地点数(箇所)	R元緑視率平均(%) (a)	R6緑視率平均(%) (b)	緑視率の増加(%) (b-a)
桃太郎大通り	3	13.7	19.1	5.4
県道岡山児島線・国道250号	3	20.4	24.8	4.4
城下筋	3	23.5	27.6	4.1
西口筋・昭和町通り	4	11.5	16.9	5.4
西川緑道公園筋・枝川筋	4	27.6	30.5	2.9
全体	17	19.3	23.8	4.5

[路線別取組成果]

桃太郎大通り

取組の内容	取組の成果
歩道に木陰を増やすため、樹形を整えながらそれぞれの樹木を大きく育て路線全体のボリューム感を確保した。	剪定の方法や時期の見直しを行い、樹形の回復や緑量の増加等のボリュームアップを図ることができた。また、緑視率も路線平均が13.7%から19.1%に5.4%上昇した。

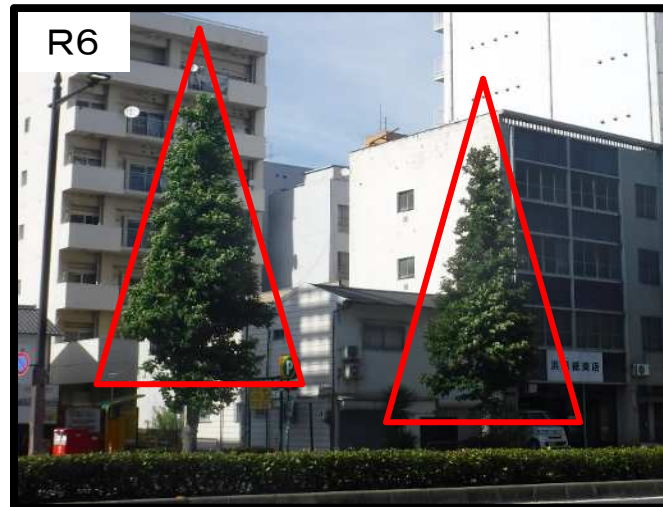




[路線別取組成果]

県道岡山児島線  
・国道250号

取組の内容	取組の成果
強剪定等で発生しているコブの除去等を行い、剪定方法を見直すことで本来の樹形に戻しながら、統一感のある美しい樹形を確保した。	コブの除去等を行うとともに、剪定方法の見直しを行い、樹形の整形を図ることができた。また緑視率も路線平均が20.4%から24.8%に4.4%上昇した。



+4.2%

[路線別取組成果]

城下筋

取組の内容	取組の成果
限られた道路空間の中で、樹形を整えながらそれぞれの樹木を大きく育て、緑のボリュームアップを図った。	剪定方法や時期の見直しを行い、緑量の増加等のボリュームアップを図ることができた。また緑視率も路線平均が23.5%から27.6%に4.1%上昇した。



+6.6%

+4.6%



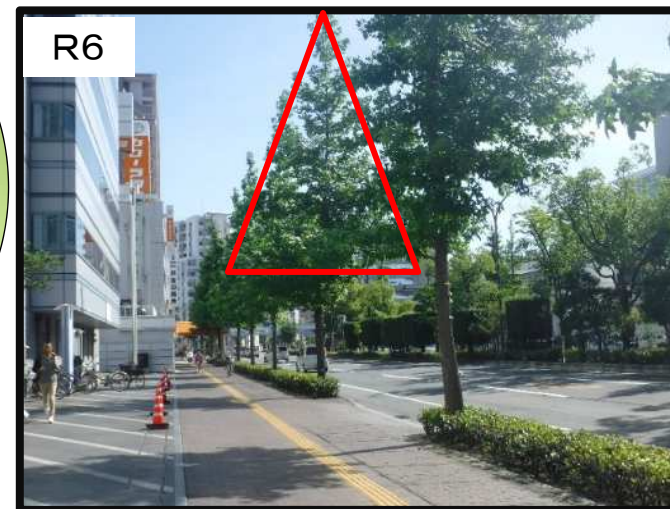
[路線別取組成果]

市役所筋

取組の内容	取組の成果
市役所以北について、樹勢の悪化が見られるプラタナスを、有識者や専門家の意見を考慮し、ナンキンハゼへ植え替えた。市役所以南について、樹木を成長させ、緑のボリュームアップを図った。	市役所以北について、すべてのプラタナスを枝ぶりが良く、紅葉の美しさが特徴的なナンキンハゼに植替えた。市役所以南について、剪定方法や時期の見直しを行い、樹形の回復や緑量の増加等のボリュームアップを図ることができた。



ナンキンハゼ  
に植替え  
↓  
美しい紅葉等で  
四季を楽しめる



剪定方法  
や時期  
の見直し  
↓  
樹形の回復



[路線別取組成果]

**西口筋  
・昭和町通り**

取組の内容	取組の成果
<p>既存の樹木を成長させつつ、自転車専用レーンの上まで、樹木で覆えるように樹形を整えながら緑のボリュームアップを図った。</p>	<p>剪定方法や時期の見直しを行い、自転車専用レーン上までの木陰確保や樹形回復等により、一定のボリュームアップを図ることができた。また緑視率も路線平均が11.5%から16.9%に5.4%上昇した。</p>



+11.2%

+6.9%

[路線別取組成果]

西川緑道公園筋  
・枝川筋

取組の内容	取組の成果
西川緑道公園筋・枝川筋の街路樹と豊かな緑量を有する公園樹木の調和を図りながら、従来通りの樹形を保ち緑のボリュームを維持した。	樹形的美しさを保つとともに、ボリュームの維持を図ることで、西川緑道公園筋・枝川筋の街路樹と公園樹木が一体となった、水と緑の憩いの空間づくりを演出できた。



+1.8%

街路樹と公園の調和  
↓  
一体的な水と緑の憩いの空間演出



[路線別取組成果]

ハレまち通り  
・県庁通り

取組の内容	取組の成果
ハレまち通りについては、1車線化工事にあわせて樹木の植替えを行い、県庁通りと合わせて緑のボリュームアップを図った。	ハレまち通りについて、1車線化工事による歩道の拡幅に伴い、扇状に成長し、美しい樹形が楽しめるアヤケヤキに植替えを行い、歩きやすく憩いの感じられる道路空間を創出することができた。

アヤケヤキ  
に植替え  
↓  
樹形が美しく  
木陰ができる

